

‘2012年1月15日
INTRODUCTION TO THE AS/400



V1.00

日付を扱う様式を指定する	1
特定の漢字でコンパイルエラーになることを防ぐ	2
プログラム記述によるファイルのアクセス	3
更新ファイルの記述	5
ソース・ファイルを読み書きする	6
レコードの追加がある場合の記述	7
RRNによるアクセス	9
キーによるアクセス	11
レコード様式名の変更	12
画面ファイルの記述	13
サブファイルを使うときのファイル仕様書の記述	14
漢字を扱う	15
フィールド名の変更	16
配列の記述と使い方	17
データ構造の中に配列を置く	18
ファイル更新（削除）処理	19
交互配列の記述と使い方	20
データ入りの配列の記述	21
配列のクリア	21
配列全要素の合計	22
配列同士の算術演算	22
データ構造の記述法	23
外部記述を使ったデータ構造の記述	24
データ構造の要素に初期値を与える	24
定数に名前をつけて使う	25
256桁より長い文字列変数	26
データ構造要素に、長い桁数の初期値を与える。	26
自分のプログラム名の取得	27
装置名の取得	27
サインオンしているユーザーIDの取得	27
ジョブナンバーの取得	27
カーソル位置情報の取得	28
タイプの異なるデータフィールドを同じ場所に重ねる	29
2進数を取り扱う	30

同じ構造体を複数使用する	31
ローカルデータ域の記述	32
ユーザーデータ域 (UDA)	33
ユーザーデータ域 (UDA) の明示的入出力	34
ユーザー・プログラム・スイッチ (UPSI) の受け取り	35
外部からのパラメータの受け取り	36
外部との情報の受け渡し	37
6桁日付、8桁日付の取得	38
システム日付の取得	38
他のデータを参照して、同じデータ属性のフィールドを定義する	39
剰余の求め方	40
四捨五入した値を求める	41
平方根を求める	41
全桁同じ文字の列を割り付ける	42
文字列の長さの求め方	42
文字列を連結する	43
文字列の探索	45
文字列の切り出し	46
文字列の末尾 (右端) 切り出し	46
配列の並べ替え (ソート)	47
文字の変換を行なう	48
メッセージを表示する	49
メッセージを表示し、応答を得る	49
オペレーター端末にメッセージを表示し、応答を得る	50
他のユーザー端末にメッセージを表示し、応答を得る	50
ケース分けの実行	51
ファンクションキーと標識の関係	52
同じ手順を指定回数だけ繰り返す	53
ある条件になるまで、あるいはある条件の間繰り返し	54
繰り返しからの脱出	55
繰り返し処理の途中からのバイパス	55
外部プログラムを呼び出す	56
ライブラリーを指定して呼び出しする	57
逆読みの方法	58
同一キーグループの読み取り	58
レコードのクリア	59

キー部分だけを除いてレコードをクリアする	59
更新ファイルを排他処理なしで読む.....	60
RPGからCLコマンドを実行する.....	60
プログラムの中でファイルをOPENする.....	61
PGMの中でアクセスしたいファイルを切り替える	61

